

介護職員初任者研修課程カリキュラム表

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護と介護保険制度の意義 ・介護保険サービス(居宅・施設) ・介護保険外サービス 	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職としての心構え ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的イメージ ・キャリアパスの資格取得要件 	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 ・ICF ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要 	(2)-①
	②自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援 ・介護予防 	(2)-②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴 ・介護の専門性 ・介護に関わる職種 	(3)-①
	②介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守 ・介護の倫理 	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・緊急時に必要な知識と対応方法 ・感染症対策 	(3)-③
	④介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理 	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景と目的・動向 ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・介護保険制の財源、組織・団体の機能と役割 ・医療保険制度の概要 ・年金保険制度の概要 	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・医療行為と介護 ・健康チェック ・リハビリテーション医療の過程 ・リハビリテーション医療の意義と役割 ・訪問・通所・地域リハビリテーション 	(4)-②
	③障害者総合支援制度およびその他制度	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援制度創設の理念、背景と目的 ・障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要 	(4)-③

(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的と役割 ・介護におけるコミュニケーションの手段と技法 ・利用者・家族への対応の基礎知識 ・利用者・家族への対応の実際 ・利用者の状況・状態に応じた対応 	(5)－①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・記録による情報の共有化 ・報告・連絡・相談 ・コミュニケーションを促す環境 	(5)－②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老年に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 	(6)－①
	②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病（老年症候群）と生活上の留意点（外科系） ・高齢者に多い病気と生活上の留意点（内科系） 	(6)－②
(7)認知症の理解 (6時間)	①認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念と視点 	(7)－①
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の概念と原因疾患・病態 ・原因疾患別ケアのポイントと健康管理 	(7)－②
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応 	(7)－③
	④家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との関わり方と援助 	(7)－④
(8)障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念と I C F ・障害者福祉の基本理念 	(8)－①
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害 ・知的障害 ・精神障害（高次脳機能障害・発達障害を含む） ・その他の心理の機能障害 	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の心理・かかわり支援 	(8)－③
(9)こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習（12時間）】		
	①介護の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の基本的な考え方 	(9)－①
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶に関する基礎知識 ・感情と意欲に関する基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因 	(9)－②
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・健康チェックとバイタルサイン ・骨・関節・筋肉に関する基礎知識 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 	(9)－③	

		・自律神経と内部器官に関する基礎知識	
	【イ 生活支援技術の講義・演習（51時間）】		
	④生活と家事	・生活と家事の理解 ・家事援助の基礎知識と生活支援	(9)－④
	⑤快適な居住環境整備と介護	・快適な居住環境に関する基礎知識 ・介護保険による住宅改修 ・福祉用具に関する基礎知識	(9)－⑤
	⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術	(9)－⑥
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・移動・移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗のための用具と活用方法 ・負担の少ない移動・移乗と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援	(9)－⑦
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・入浴と清潔保持に関する基礎知識 ・入浴と整容の用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因と支援方法	(9)－⑧
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因と支援方法	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因と支援方法	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程とこころの理解 ・苦痛の少ない死への支援と他職種との連携	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	・入浴と清潔保持に関する基礎知識 ・入浴と整容の用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因と支援方法	(9)－⑫
	【ウ 生活支援技術演習（12時間）】		
	⑬介護過程の基礎的理解	・科学的思考と介護過程 ・介護過程の展開に必要な構成要素	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	・事例による展開演習	(9)－⑭
(10)振り返り (4時間)	①振り返り	・根拠に基づく介護についての要点（利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等）	(10)－①
	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	・研修終了後における継続的な研修について具体的にイメージできるような実例（OFF-JT、OJT）を紹介	(10)－②

- ※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。
- ※2 実習を行う場合は、「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」内の「ウ 生活支援技術演習」内で、12時間以内とする。
- ※3 実習受入担当者による指導ではなく、研修担当講師による指導の一環として行われる施設の見学は、「(1) 職務の理解」及び「(10) 振り返り」で行うことができる。